

私たちは闘いの手を緩めない 汚染水の海洋放出 原発再稼働・新增設を許さない!

原発汚染水の海洋放出中止と原発再稼働・新增設反対を 政府・東電へ申入れ行動、福島県から40名参加。



2年前から賠償金が支払われていない怒りをぶつける



即座に取り組むことを政府と東電に求めました。

東電 広域遮水壁については中長期的に検討していく。まずは原発建屋の局所的止水や雨水の流入防止を進める。溶け落ちた燃料デブリを取り出さなければいつまでも汚染水が発生するので、デブリ撤去を優先していく。

放出は安全だという広報予算に電通を通して900億円もの税金を使っている。こんな予算があれば、すぐにでも広域遮水壁が完成する。今すぐに調査を開始せよ!

東電 繰り返しになりますが:

岸田政府は今年春にも、東電福島第一原発構内にたまり続ける原発汚染水の海洋放出を決め、その準備を粛々と進めています。東電は2015年福島県漁連に対し、「関係者の理解なしには、いかなる処分も行わない」という約束を反故にしており決して容認されません。海洋放出しない対策として「広域遮水壁」を設置し、これ以上の汚染水発生を防止し、大型タンクでこれまでに発生した汚染水を保管する現実的な提案が示されており、

岸田首相は参議院選直後の8月24日、「GX(グリーン)トランスフォーメーション」実行会議で、原発の「7基追加再稼働」や原発の運転期間の延長、次世代革新炉の建設による原発の新設やリプレースの検討など、これまでの政府の方針を転換し、原発推進方針を表明しました。

農民連 政府は12月から汚染水

● 原発は電力逼迫解消に何ら役に立たず、事故の危険性や、廃炉、廃棄物処理などの問題の

● 解決をもっていません。原発事故を起した政府として原発政策を中止し、世界で飛躍的に増えている再生可能エネルギーと省エネを推進し、地球温暖化防止へ貢献できる政策を実施することを求めました。

農民連 政府と東電は原発残すところから出発するので間違っている。世界では再エネ普及こそが、エネルギー高騰抑制、温室効果ガス発生抑制に役立つと一気に推進されている。原発普及の予算は全て再エネ普及に切り替えるべきだ。

訳ありません。来月から請求受付を始めたかと考えています。

農民連 出荷停止だから難しい計算はいらぬはずだ。1月に払えるなら、計算方法はもう決まっているはずだから年内にも払えるはずだ。

東電 社内で確認し、1月からなので、それ以上はちよつと:

農民連 改めて要請している。今結論を出せないなら持ち帰って検討しろ。それもできないなら、国会議員から東電社長に電話をする。

東電 引き取って検討し12月16日に回答します。

東電 遅くなっており大変申し

その後16日に「弊社で確認が完了したのから2022年のお支払いを進めさせていただきます」と文書回答が届きました。至急生産者が追加の資料を提出したものの、東電はさらなる理屈と要件を持ち出し年内に支払われませんでした。加害者の東電は当然支払われるべき賠償金を渋り、経産省は東電を指導もせず、原発再稼働を進める。原発事故から11年経過した今でも被害者は苦しめられていきます。それでも私たちはあきらめずに被害がある限り闘いの手を緩めません。

東電 遅くなっており大変申し

その後16日に「弊社で確認が完了したのから2022年のお支払いを進めさせていただきます」と文書回答が届きました。至急生産者が追加の資料を提出したものの、東電はさらなる理屈と要件を持ち出し年内に支払われませんでした。加害者の東電は当然支払われるべき賠償金を渋り、経産省は東電を指導もせず、原発再稼働を進める。原発事故から11年経過した今でも被害者は苦しめられていきます。それでも私たちはあきらめずに被害がある限り闘いの手を緩めません。

東電 資源の乏しい日本ではエネルギーの安定供給、価格上昇抑制、温室効果ガスの低減のため、原発は欠かすことのできない電源です。原発は低廉で安定的で温室効果ガス排出が少ない。再エネは天候に左右されるが、原発は安定的供給可能です。

農民連 耳を疑う回答だ。原発のコストは太陽光より高いのは常識だし、核廃棄物を10万年保管する費用をどうやって見積もるのか。現在の電力需給逼迫に、2030年代に設置予定の原発新增設が役に立つはずがない。経産省はどう考えているのか?

経産省 原発と太陽光の発電コストを単純に比較すると太陽光が安い。今の電力逼迫に原発新增設が貢献することは難しい。



要請に対応する立憲民主党山崎誠議員

衆・参議院の経産委員60名を訪問

衆・参議院の経産委員を訪問し、汚染水の海洋放出反対と原発再稼働・新增設反対の要請をしました。多くが秘書対応でしたが、立憲民主党と共産党の議員が直接対応してくれました。

立憲民主党の山崎誠議員は要請に対し、「私も処理水ではなく汚染水だと思っている。原発ゼロの会に入り、原発問題を取り上げ、原発反対の声を上げていく」と回答しました。共産党の笠井亮議員も本人が対応いただき、「農民連の言う通りだ。政府は今年原発政策の方向性を出す、福島第一や柏崎の実態調査に入り、岸田首相に事実を示して対抗します」と回答しました。

広域遮水壁などの対案を知らない委員や秘書も多く、福島県選出国會議員や、全ての国會議員に知らせていきます。

農民連フラッシュ flash

日本から畜産の灯を消すな!

12月22日、消費者と畜産農家が連携して政府に対策を要請する集会が行われました。農水省に約180人分の要望書を提出し、畜産農家が改めて苦しい現状を訴えました。今すぐに支援がなければ、日本の酪農・畜産は壊滅してしまいます。政府はこの危機的状況を真摯に受け止め、早急な対応を求めます。



第36回 福島県農民連定期総会開催

2022年12月4日、久し振りの顔を合わせた総会です。ご来賓の立憲民主党の金子恵美議員の「農について働きたい」という言葉が沁みました。そして、力強く未来明るいメッセージ。中でも発言は生産者の農政への怒りや新しい取り組み、生産者のための農協を!!等々意見が爆発し、大いに盛り上がった総会となりました。



福島農民連の電気購入できます!

福島農民連産直農協で発電している電気を「みんな電力」から購入や応援することができます。再生可能エネルギー100%の電気も選択できます。みんなの選択で地球を冷やしましょう。

<https://minden.co.jp/personal/>



二本松発電所